

取扱説明書

保証書添付

業務用 HEPAフィルター搭載ドライバキューム

極
HEPA
series kiwami

FPS
FIRST PROFESSIONAL SYSTEM

この度は「極HEPA」をご購入いただき誠に有難うございます。
商品を安全に正しくご使用していただくために
お使いになる前に、取扱説明書をよくお読みになり十分に理解し
特に、安全のために警告や注意、禁止事項を必ずお守りください。
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り
出せる場所に大切に保管してください。



※本取扱説明書中の画像やイラストはイメージであり
実際の機械と異なる場合があります。

FIRST PROFESSIONAL SYSTEM

 大一産業株式会社

【保証書】本書は、ご購入日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

商品名	極HEPA	型番	DSM-007
シリアルNo.			
ご購入日	年 月 日	保証期間	ご購入日より1年間
貴社名			ご担当者名
納入先名	様		
納品先住所	〒 TEL () -		

販売店名
TEL () -

保証規定

お買い上げいただいた製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い補償いたします。
この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

■保証の内容
ご購入いただいた製品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、これを無料修理いたします。（この無料修理を保証修理といいます。）
保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

■保証できない事項

- 次に示すものに起因すると判定される故障は保証修理いたしません。
 - ・取扱説明書の指示に反する使用 ・保守整備の不備または間違い（日常点検をしていない場合）
 - ・弊社が提示している仕様の限界を超える使用（例：電力異常による損傷、凍結させた場合の損傷 など）
 - ・弊社が認めていない改造・純正部品以外の使用・ご使用者の不注意によるケガおよび故障

●次に示すものの費用は負担いたしません

- ・清掃、点検、調整、定期点検整備、補償修理以外で使用した部品、輸送費、出張費用 など
- ・この保証書に示す条件以外の費用補修など・本機を使用できなかったことによる不便さおよび損失など（休業損失、商業損失など）
- ・正しく操作をせずにケガを負った場合

■保証の適用

この保証は本保証書を提示した場合に適用されます。日本国内で使用される弊社製品のみにも適用いたします。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

- 本書の再発行は行いませんので紛失しないよう大切に保管してください。●取扱説明書は紛失しないよう保管してください。
- ご不明な点がございましたらお買い上げ販売店または大一産業株式会社までご連絡ください。

修理の依頼、製品についてのお問い合わせは、お買い上げ販売店、または最寄りの支店・営業所までお願い致します。

関東・東北・北海道	【東京支店】	TEL. 03-3691-0722
中部・北陸	【名古屋支店】	TEL. 052-882-8261
近畿	【本社営業部】	TEL. 078-351-2561
姫路・山陰	【姫路支店】	TEL. 079-280-6006
岡山	【岡山営業所】	TEL. 086-239-7855
広島・山口	【広島支店】	TEL. 082-236-8801
四国	【高松支店】	TEL. 087-822-8088
九州・沖縄	【九州支店】	TEL. 092-561-7772

発売元  大一産業株式会社 本社 〒650-0022神戸市中央区元町通5丁目1-20

はじめに

このたびは「極HEPA」をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。

この取扱説明書には、本機を安全且つ効果的にご使用いただけるよう、正しい使い方について説明しております。
ご使用いただく前によくお読みいただき、本機の機能を十分に活用ください。

シンボルマークの定義

尚、弊社では「危険」、「警告」、「注意」及び「参考」の各事項について次のようなシンボルマークを使用しており、それぞれの定義は以下の通りです。



注意：製品自体の損傷防止

遵守しないと製品自体に損傷を与える可能性がある。



危険：人身事故防止用

遵守しないと人身事故が発生し、場合によっては死亡、重大な後遺症の可能性がある。

もくじ

1.安全にお使いいただくために..... 2

2.各部の名称 3

3.標準付属品、4.主な仕様 4

5.運転前の準備 5～6

6.運転の開始 7

7.運転の終了 8

8.日常の点検・保守 9～10

9.故障かなと思ったら 11

保証書

おことわり

性能の向上、改良のため、操作方法や仕様などの記載事項が予告なしに一部変更になることがありますので、ご了承ください。

1. 安全にお使いいただくために

機械の性能を十分に発揮させるために、また安全にご使用いただくために、ご使用の前に下記の事項をよくお読みいただき、十分にご理解と遵守の上でご使用ください。

⚠ 危険：事故を防ぐために

- 作業は操作が容易なきちんとした服装で行ってください。
- 粉塵爆発の恐れがある金属粉、樹脂粉、石炭、カーボン、コーンスターチなどやガソリン、灯油、シンナー等の溶剤など引火の恐れのある物質の吸引は絶対に行わないでください。
また、ガソリン、灯油、シンナー等の溶剤など引火の恐れのある物質のそばで使用しないでください。
- 本機使用中に異音や異臭など、異常な気配を感じた場合は直ぐにスイッチをオフにし、使用を中止してください。
- 改造はしないでください。故障の原因となり危険です。
- 本機は乾式専用掃除機です。水や濡れた物の吸引をすると故障の原因となり危険です。
- 感電やショートする恐れがありますので吸・排気口の隙間や本体内部機械部にピンや針金等の異物を入れないでください。
- 濡れた手や身体で本機の操作や電源への接続を行わないでください。
- 使用電源は100V50又は60Hzで、15A以上の電気容量を有する電源でご使用ください。
- 本機は屋内仕様になっています。雨水に濡れないようにしてください。
- 本機に水や油などが掛からないようにしてください。万一掛かってしまった場合は、乾いた布などで良く拭き十分に乾燥させてください。
- 電源コードを延長する場合は、最寄の弊社支店・営業所にご相談ください。
- 本機を保管する際は、車輪に輪留めを施してください。
- 保守・点検を行う時は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 危険：健康への影響を避ける為に

- 本機でアスベスト等の危険粉塵の回収は行わないでください。

⚠ 注意：機械の故障を防ぐために

- 電源スイッチのオン・オフを必要以上に行わないでください。スイッチ等の故障原因となります。
- 吸塵中、ホースやアタッチメント内に回収物が詰まった場合、直ぐに電源スイッチをオフにして作業を中断し、詰まりを解消させてください。
- 必ず水平で風通しの良い場所でご使用ください。
- 本機を布やビニールなどで覆わないでください。冷却不足となり、モーター故障の原因になります。
- 電源コードやホースを引っ張ったり、踏んだり、折り曲げたりしないでください。
- フィルターは常にきれいな状態で使用してください。
フィルターが目詰まりしたまま本機の使用を続けると吸引力が低下し、作業効率を低下させるだけでなく機械故障の原因となります。
- フィルターバッグに回収物がいっぱいの状態や、目詰まりしたまま使用を続けると吸引力が低下し作業効率を低下させるだけでなく機械故障の原因となります。
- 連続運転は1時間までとし、それ以上ご使用される時はモーターに負荷が掛かりますので数十分休ませてからご使用ください。

⚠ 注意：電源コードの断線を防ぐために

- 断線防止フックに電源コードを装着しているかご確認ください。
- 本体電源コードに断線防止ショートケーブルを接続しているかご確認ください。

9. 故障かなと思ったら

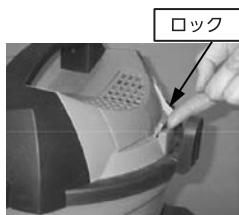
本機に異常が見られた時は、次の点をお調べください。それでも異常がある場合にはお買い求めの販売店、もしくは最寄りの弊社営業所までご相談ください。

こんな時は	考えられる原因	その対策
スイッチを入れてもモーターが作動しない	電源側のブレーカーが落ちている	ブレーカーを入れる
	電源コードが接続されていない	電源コードをコンセントに接続する
	電源コードの断線	コードを交換してください
	本機内部の故障	点検・修理をご用命ください
吸引力が弱い、吸引しない	フィルターバッグが一杯になっている	フィルターバッグを新品に交換する
	フィルター類の詰まり	フィルター類を清掃する
	ホースやツールの詰まり	ホースやアタッチメントを外し、詰まったものを取り除く
	ホースやツールの接続が不完全	正しく接続する
	ホースの切れ	ホースを交換する
	ホースの吸引調整口が開いている	ホースの吸引調整口を閉じる
異音がする	モーターの故障	点検・修理をご用命ください
排気口から粉塵が出る	フィルターが外れている	フィルターを正しく取り付ける(注)
	フィルターが破損している	交換する(注)
	フィルターバッグが外れている	フィルターバッグをしっかりと取り付ける(注)
	細かい粉塵を吸引している	最寄の弊社営業所にご相談ください

(注)：場合によっては本機の分解清掃が必要です。最寄りの弊社支店・営業所に点検・修理をご用命ください。

8. 日常の点検・保守

フィルター類の点検・清掃



HEPAフィルターの点検・交換

モーターヘッド後方にあるHEPAフィルターを点検し、汚れが目立つようになったら新品に交換してください。

1. HEPAフィルターカバーのロックを押し込み、カバーを外します。
2. HEPAフィルターを取り出し、内側の汚れ具合を点検します。汚れがひどい場合には新品に交換します。



注意 HEPAフィルターの水洗いはできません。

3. HEPAフィルターを取り付け、カバーを元に戻します。



注意 カバーのロックが確実に掛かっていることを確認してください。

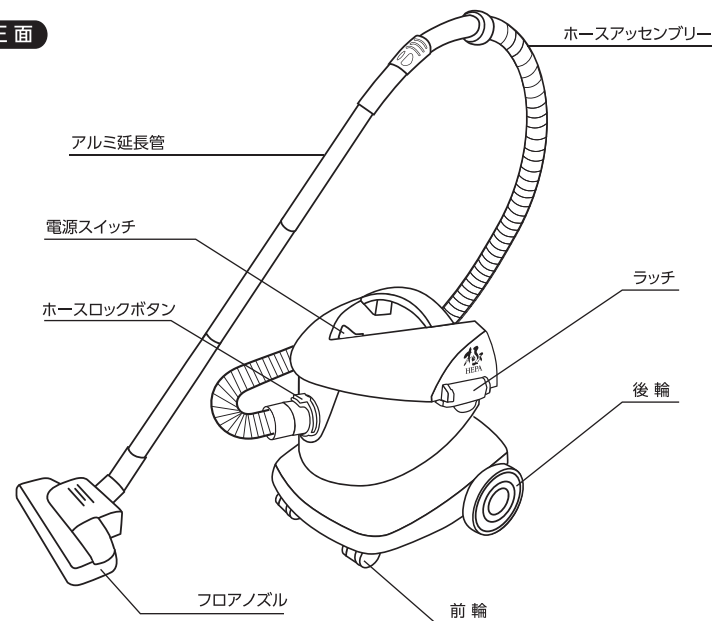
電源コードの交換



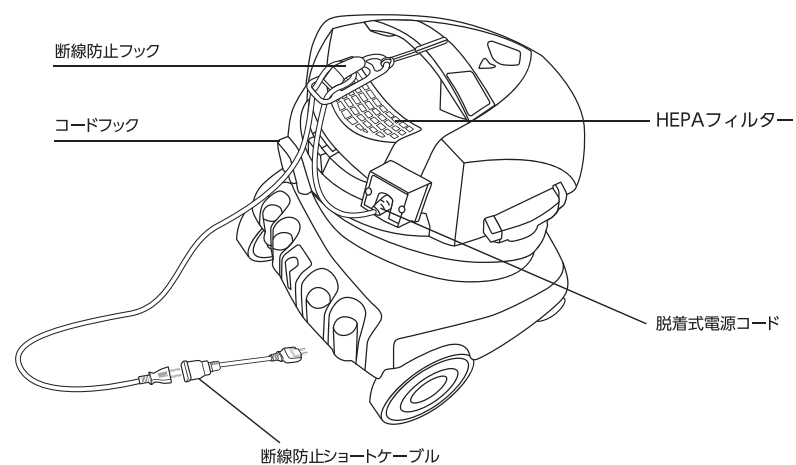
1. ドライバーで電源コードカバーのネジを外します。
2. 電源コードカバーを外し、電源コードを外します。
3. 新しい電源コードを差し込み、カバーを元にもどします。

2. 各部の名称

正面



背面



3. 標準付属品



4. 主な仕様

電 源	100V 50/60Hz
消費電力	950W
集塵容量	11L
電源コード長さ	約12m
本体寸法	W360×D400×H420
重 量	7.8kg(本体のみ)

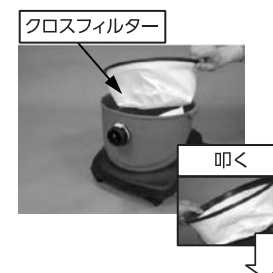
性能の向上、改善のため上記仕様を予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

8. 日常の点検・保守

点検・保守を行う場合は、電源コードを電源コンセントから外した状態で行ってください。

フィルター類の点検・清掃

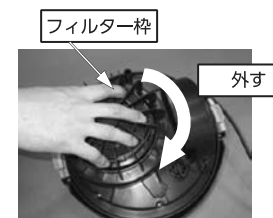
常に効率の良い吸塵を行うため、本機使用後は毎回クロスフィルターとスポンジフィルターの清掃を行ってください。清掃とあわせてフィルターに切れや破損などがないか目視にて点検を行ってください。



クロスフィルターの点検・清掃

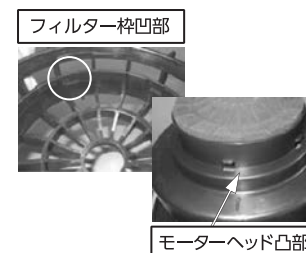
1. クロスフィルターを取り出し、軽く叩いて付着した粉塵を落としてください。クロスフィルターを点検し、破損や穴あき、極端な詰まりが確認された場合は新品に交換してください。

注意 クロスフィルターは水洗いしないでください。
水洗いすると目詰まりして使用できなくなります。



スポンジフィルターの点検・清掃

1. モーターヘッドをひっくり返し、フィルター枠を時計方向に止まるまで回してフィルターを外します。
2. スポンジフィルターを取外し、表面に付着したごみを除去してください。内部に埃が入り込んでいる場合は流水で洗い自然乾燥させてください。切れや破損がないか点検し、異常が確認された場合は新品に交換してください。
3. スポンジフィルターを元の位置に戻し、フィルター枠を取り付けます。フィルター枠の凹部とモーターヘッド側の凸部の位置を合わせてフィルター枠が止まるまで押し込み、反時計方向に回しロックさせてください。



注意 フィルター類を取付けない状態での使用や、フィルター類が目詰まりしたまま本機の使用を続けると吸引力が低下し、故障の原因となります。

7. 運転の終了

運転の終了



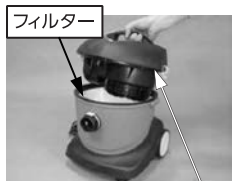
電源スイッチ



ロック解除

1. 電源スイッチを押してバキュームモーターを停止させます。
2. 各アタッチメントを取り外し、ホースロックボタンを押してバキュームホースを取り外します。
3. 後述の「回収物の廃棄とフィルターバッグの交換」に従って回収物の投棄を行い、P10「フィルター類の点検・清掃」に従ってフィルターの清掃を行ってください。

回収物の廃棄とフィルターバッグの交換



フィルター



モーターヘッド



クロスフィルター



フィルターバッグの取り外し

1. ラッチ（左右）を引き上げ、モーターヘッドを外します。
2. クロスフィルターを取り外します。
3. 回収タンク内に埃などの回収物が落ちないように、フィルターバッグ差し込み口から取り外します。



注意

万一、回収タンク内に回収物が落ちてしまった場合は、キレイに掃除してください。回収タンク内に埃などが落ちたまま使用すると、本機の故障の原因となります。

4. 回収物の溜まったフィルターバッグを廃棄します。
5. P5「運転前の準備」を参照し、新しいフィルターバッグを取り付けます。

5. 運転前の準備

運転前の準備

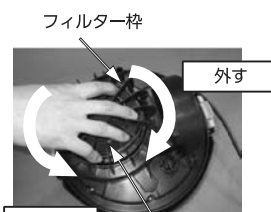


ラッチ



フィルター

モーターヘッド



フィルター枠

取り付ける

スポンジフィルター

1. ラッチ（左右）を引き上げ、モーターヘッドを外します。
2. クロスフィルターを取り出します。
3. フィルターバッグの取り付け部の厚紙が上になるようタンク内へ入れ、開口部をフィルターバッグ差し込み口にしっかり差し込みます。
※下記フィルターバッグの取り付けをご参照ください。



注意

- フィルターバッグは取り付けの向きがあります。取り付け部の厚紙が上になるようにしてください。
- フィルターバッグ開口部のゴムのリップが差し込み口の奥の溝にはまるまでしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと埃の吹き出しの原因になります。
- クロスフィルターを必ず取り付けて本機を使用してください。装着しないで運転すると、粉塵がモーター内に入り故障の原因となります。

4. フィルター枠を取り外し、スポンジフィルターが正しくセットされているか確認してください。フィルター枠は時計方向に回すと外れ、反時計方向に回すと取り付けができます。またスポンジフィルターに穴が開いたり、ゴミ詰まりや汚れがないか確認してください。もし損傷があった場合は新しいスポンジフィルターに交換してください。

フィルターバッグの取付け



差し込み口

フィルターバッグの厚紙が上になるように、フィルターバッグの差し込み口に挿入する。



リップ

厚紙部分を押し、ゴムのリップがフィルターバッグ差し込み口に確実にはまるようにする。



取り付け完了

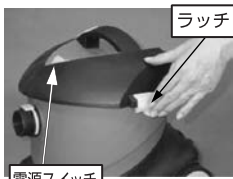
5. 運転前の準備

運転前の準備



フィルター

5. フィルターバッグの上にクロスフィルターをセットします。



ラッチ

電源スイッチ

6. モーターヘッドを回収タンクの上にセットしラッチを掛け、しっかり固定します。モーターヘッドには向きがあります。電源スイッチと吸引口が同じ向きになると正しいです。



吸引口

ホースロックボタン

7. バキュームホースを吸引口に、カチッと音がするまで差し込みます。取り付け後はホースを引き、ロックがかかっていることを確認してください。



床を掃除する場合

8. バキュームホースに延長管・フロアノズルを接続します。作業状況に適したアタッチメントをご使用ください。

6. 運転の開始

運転の開始



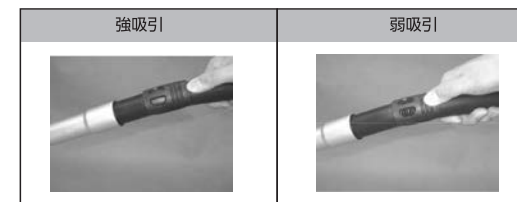
1. 断線防止ショートケーブルに電源プラグを接続し、電源コンセントに差し込みます。

2. 電源スイッチを押し、バキュームモーターを起動させます。

※電源コードを差込むとランプが光ります。

※電源スイッチは押すたびに動作⇄停止を繰り返します。

3. ホースハンドル部分に吸引調節口があります。調節口を開けると吸引が弱くなり、閉めると強くなります。掃除する個所に応じ、調節しながら吸引してください。



安全弁について



安全弁

フィルターバッグが一杯になったり、フィルターやホースに詰まりが発生した場合、モーターを一時的に保護するためにモーターヘッドの底面にある安全弁が開き、風切音を立てながら外気を吸込みます。安全弁が作動したら直ちに使用をやめて、フィルターバッグ、ホース吸引口の点検を行ってください。

⚠ 注意

本機のバキュームモーターは吸引した空気で冷却しています。安全弁は回収タンク内が密閉状態になりバキュームモーターの冷却ができなくなり急過熱や損傷するのを一時的に防止するための機能です。安全弁が作動している状態で使用を続けると本機の故障原因となるため直ちに運転を中止してください。また何度も安全弁を作動させると本機の故障原因となるため、吸引力が低下したり、回収物がフィルターバッグ容量の2/3程度になったらP8「回収物の排気とフィルターバッグの交換」または、P9「フィルターの点検・清掃」に従い本機内の詰まりを解消させてください。

❗ 参考

上記フィルターバッグ容量の2/3程度というのは、あくまでも目安です。回収物によって異なります。